

2022年秋季Aブロックリーグ戦の日程に関して

首題の件につき、本連盟の考え方について以下のように説明いたします。

1. 現状の問題点

秋季Aブロックリーグ戦の初日、二日目が、日本オープン最終予選（9/5～6）及び世界アマチュアゴルフチーム選手権（8/31～9/3）の移動日と重複している。

2. 経緯

- ・本連盟の2022年度競技日程は、それまでに公開された他の競技団体の日程を参考にして、2021年12月に発表している。
- ・発表当初の予定では、秋季Aブロックリーグ戦は、9/12～16（第3週）の開催予定であった。
- ・2022年2月に、アジア競技大会（中国）が9/15～18に開催されるとの情報が入り、JGAと相談の上、2/7付にて当初予定の9/12～9/16を現在の予定である9/5～9/9に変更した。
- ・この時点では、日本オープン最終予選の正式な日程は未発表であった。
- ・2022年5月上旬に、アジア競技大会の延期が決定したとの連絡を受ける。
その後の6月上旬頃に、Aブロックリーグ戦と日本オープン最終予選が重複する事を知る。
- ・事実確認後、日程変更及び会場変更の調整に入るが、3か月後の繁忙期の貸切りである為、会場の変更等は不可能な状態である事を確認した。
- ・8/4現在で日本オープン最終予選出場予定者は、Aブロック11名（4校）、Bブロック1名（1校）、世界アマチュア出場予定者は、Aブロック3名（2校）である。

<参考>

8/18～8/19	男子DEF対抗戦（芳賀）
8/23～8/26	男子日本学生（カレドニアン）
8/29～8/31	男子Cブロック対抗戦（静ヒルズ）
8/30～9/2	JPGA最終プロテスト
8/30～9/2	1 st QT 富岡倶楽部 奈良柳生CC
9/5～9/6	日本オープン最終予選（ザ・ロイヤル/六甲国際）
9/6～9/9	1 st QT 杉ノ郷CC
9/5～9/9	男子Aブロックリーグ戦（こだま）
9/13～9/16	1stQT 五浦庭園CC 白山ビレッジGC
9/14～9/16	男子Bブロック対抗戦（静ヒルズ）
9/22	男子入替戦（杉ノ郷）

3. 本連盟ができる対応

秋季Aブロックリーグ戦と、JGA主催及び派遣競技が重複しているとの指摘を受け、本連盟では以下の検討を行った。

① 日程の変更（当初予定の9/12の週に移動させる）

- ・Aブロックは5日間×2R競技である為、コースとの調整を図るもBブロック日程との入替は不可であった。
- ・他の日程も検討したが、入替戦（9/22）までに設定する事は不可能であった。

② JGA主催及び派遣競技出場者数分、選手登録を増やす事を認める

- ・当該競技出場者が対抗戦2日目又は3日目から出場できるように、規約上の登録人数に対して当該競技出場者数分を追加して登録できるようにする案を検討した。
- ・上記を許可した場合、各校の追加登録の人数が異なってしまうこと、又そもそも当該競技に出場する選手がいない大学もあること（この場合の登録は規定通りの12名）等から、大学間に著しい不公平が生じる事となり、フェアな対戦にならないとの指摘を受けた。

③ 日程が重複する初日、二日目の対戦を、別日にて個別に（2校だけで）開催する

- ・倶楽部選手権等の個人戦では比較的行われている方法であるが、団体戦である対抗戦にこの方法が可能かを検討した。
- ・「別日程」「別会場」と言うが、対戦する2校（最大24人）が2Rを円滑にプレーできるコースが具体的にあるのか？また予約は可能か？不確定要素が多すぎる。
- ・既にAブロック各校は対抗戦開催コース（こだまGC）にて合宿等の予定を組んでおり、「別コース」で開催する場合、複数のコースで練習又は合宿をする必要がある。（初日、二日目に、最終予選出場選手がいる大学と対戦する大学だけが複数のコースでの対戦となる）
- ・本連盟の公式競技であるので、「別日程」「別会場」で開催する場合も、競技運営委員を複数名派遣する必要がある。
※対抗戦（団体戦）の為、紛議が起きた場合には第三者が立ち会う必要がある。
※時期的に想定される悪天候の際に、試合の結果を左右するジャッジは本連盟以外に出来ない。
- ・本連盟役員、運営委員等は、8月以降はほぼ毎週試合運営に出ており余裕は全くない。
- ・最終予選に選手が出場しない大学が、選手が出場する大学の都合に合わせなければいけない合理的な理由が無い。
- ・初日、二日目を「別日程」で行うとすれば、正規の日程で対戦する大学（2校）のみでコースを貸切る事となり、開催コースに多大な迷惑をかけることになる。

④ 8名を限度として、初日、二日目のみ必要人数の増員を認める

- ・最終予選出場者が不在の間（初日、二日目のみ）と、世界アマチュア出場選手が不在の間（初日）、8名を上限にした登録選手の補充を認める。

※例：登録選手12名中5名が最終予選等に出場する大学は、12名-5名=7名しか残らないので、+1名（最終登録選手数は12名+1名の13名）の補充を認める。

⑤ 3日間のトーナメント戦にて開催する

- ・参加校が6校の為、トーナメント戦での対抗戦は出来ない。

⑥ 2日又は3日間のストロークプレーにて開催する

- ・理論的には開催は可能ではあるが、そもそも学生の希望でマッチプレー及び5日間総当たりを実施している事に対して反する考え方である。
- ・既に既存日程に従って5日間の貸切りをお願いしているゴルフ場様に対して何らかの補償の必要がある。（5日間で2日間又は3日間に短縮すれば、短縮した分の補償が必要）

4. 結論

- ・ JGAとも協議の結果、現時点での対応策は規定通りの開催か、若しくは④案か、この2案から選択することが適当との結論となった。
- ・ 加盟員が、日本オープン最終予選にも参加でき、その場合でも加盟校が対抗戦を戦う事が出来るように配慮し、本連盟としては④案にて実施する事を理事会にて決議した。

*尚、本件とは別に今秋の対抗戦については、感染対策上及び熱中症対策として、大会期間中の選手の追加補充は必要最低人員（Aブロックは8名）になるまでは認める。

本件に関する詳細は、8/14 発表の「秋季対抗戦における感染対策について、追加のお知らせとお願い」を参照。

5. 参考

Aブロックリーグ戦の初日、二日目の対戦は以下の通りとなる。

<初日>

東北福祉 — 早稲田 日 本 — 中央学院 日本体育 — 専 修

<二日目>

日 本 — 日本体育 東北福祉 — 専 修 中央学院 — 早稲田

*太文字、下線の大学は8/4時点で最終予選に出場予定選手がいない大学

以上